

# 事業計画書

事業名	ときわだいらレコードセンター事業
団体名	特非) ディープデモクラシー・センター

事業概要
孤独死、高齢者の街、空き店舗の増加、などマイナスイメージも多くある常盤平の、高度成長とともに歩んできた歴史や、60年の時間を経て成長した豊富な樹木などの豊富な地域資源を、コミュニティアーカイブとして見える化し、未来に残していきます。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	孤独死、高齢者の街、空き店舗の増加、など、街の活性化とはほど遠いいまの常盤平の街には、居住している人以外の往来はなく、どんよりとした空気が流れています。人々の交流も少なく、せっかくある公共の空間もあまり利用されることはなく、豊かな姿を形成している木々も、落ち葉などで迷惑がられているのが現状です。文化も、交流も、ない街は、誰にとっても魅力のない街になっています。そんななか、再開発の話が持ち上がっており、この街で暮らしてきた人々の営みを、なかったものにははいけないと考えます。
---------------------	--

事業の目的	いまは窒息死寸前の常盤平の街ですが、かつては、いまでいうタワーマンションのような憧れの街で、子どもも多く、活気にあふれていました。60年を経て成長した豊かな木々は、他にはないような森の様子を見せてくれます。また、地形に大きな手を加えず、ゆとりを持って作られた常盤平団地の美しさも際立っていて、とくに現存するスターハウスとしてはほぼ唯一、生活することも可能です。また、孤独死発祥の街というネガティブな面も、孤立に抗ってきた街の歴史でもあり、これからの時代を象徴する地域資源といえます。本事業では、歴史、文化、森林に代表される自然環境など、常盤平の過去、現在を見る化するために、写真、8mm、絵画、テキストなど、これまでの記録を収集、保存、さらに、現在の様子、人々の語りを記録し、コミュニティアーカイブとして、将来に残していきます。そのための、人材育成、記録の収集、管理・保存、インタビュアー、映像記録者など、アーキビストを育成したいと考えます。
-------	---

事業内容	1 事業内容（予定）		
	○市民参加の連続講座（5回）コミュニティアーキビスト養成講座 第1回・コミュニティアーカイブとは（講師・せんだいメディアテーク） 第2回・まちを見る目をレベルアップ（講師・陸奥賢さん [観光家]） 第3回・人の話を聞くということ（講師・瀬尾夏美 [映画監督]） 第4回・アーキビストの技術1（講師・現役のアーキビスト [未定]） 第5回・アーキビストの技術2（講師・現役のアーキビスト [未定]） ○古い写真を募集し、集められた写真はデジタル化した後返却をする。インタビューの様子は録画し、それらをアーカイブにし写真展にて報告をしていく。		
	2 スケジュール		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	4月	広報開始	

	6月	講座第1回	実施体制：構成員 対象：常盤平周辺の市民 場所：常盤平市民センター
	6月	古い写真の募集開始 (常盤平団地へのポスティング)	実施体制：構成員 対象：常盤平周辺の市民
	7月	講座第2回	実施体制：構成員 対象：常盤平周辺の市民 場所：常盤平市民センター
	8月	講座第3回	実施体制：構成員 対象：常盤平周辺の市民 場所：常盤平市民センター
	8月	出張聞き取り (常盤平での生活について、インタビュー)	実施体制：構成員、講座受講者 対象：常盤平周辺の市民
	9月	講座第4回、5回	実施体制：構成員 対象：常盤平周辺の市民 場所：常盤平市民センター
	9月	関係者インタビュー (常盤平で暮らしていた著名人に取材)	実施体制：構成員、講座受講者 対象：常盤平周辺の市民
	10月	写真展開催	実施体制：構成員、講座受講者 対象：常盤平周辺の市民 場所：ときわだいらレコードセンター
既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)	本年度、ときわだいらレコードセンターとして事業を開始し、中心となるスタッフで、コミュニティアーカイブのあり方を検討してきました。活動に賛同し、一緒に活動をしてくれる方々を増やすために、記録映像の上映会などを行ってきました。次年度からは、常盤平に暮らす方々の持っている、過去の写真をお借りし、アーカイブ化していく作業を、本格的にスタートさせ、また、現在の様子を記録するための、出張記録もスタートさせます。そのための人材育成を、ステップアップ事業として行います。		
事業従事者数	6名		
事業の目標	講座参加者のべ 100名 研修開催中に集まるかつての常盤平の写真 500枚 研修開催中に集まるかつての常盤平の動画 20本		
今後の展望	今後、常盤平の街が変わっていくなかで、かつての街の面影や、人々の営みや暮らしを、コミュニティアーカイブとして残すことで、街の中に、いつでもかつての常盤平を感じることができる場所をつくっていきたいと考えます。また、ここでの取り組みが、市内各地に広がり、いくつものコミュニティアーカイブがつくられていけるよう、取り組みを続けてまいります。		

## 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	参加費	¥ 100,000	@1,000×100人
	団体負担金	¥ 116,000	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 216,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
<b>合計額 (C) = (A+B)</b>		<b>¥ 516,000</b>	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 400,000	@100,000×3回 (講師謝金講座1, 2, 3) @50,000×2回 (講師謝金講座4, 5)
	使用料および貸借料	¥ 25,000	@5,000×5回 (会場費)
	印刷製本費	¥ 20,000	講座チラシ@20円×500枚 写真展チラシ@20円×500枚
	消耗品費	¥ 20,000	展示用資材 (粘着剤、テープなど)、講座用文具 (コピー用紙、ペン、付箋) など
		対象経費の合計 (D)	¥ 465,000
その他経費	スタッフ交通費	¥ 30,000	当日スタッフの交通費 @1000×5回×6人
	食料費	¥ 21,000	当日スタッフの昼食代 @700×5回×6人
	その他経費の合計 (E)	¥ 51,000	
<b>合計額 (F) = (D+E)</b>		<b>¥ 516,000</b>	

**【チェック項目】**

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。